

<h1>社会福祉学入門</h1>			単位数	履修方法	配当学年
			1単位	R or SR	1年以上
科目コード	AH1050	担当教員	三浦 剛		



※本科目は、平成28年度より「社会福祉の基礎」(専門選択科目) から「社会福祉学入門」(共通基礎科目) に科目名および科目区分を変更いたしました(平成28年度以降の履修登録者は共通基礎科目(科目コード AH1050) となります)。

※「社会福祉の基礎」(科目コード DA2050) を平成27年度までに履修登録済みの方へ。

- ・ 共通基礎科目に変更を希望しない方 → そのままで登録変更いたしません(内容は AH1050 と同じです)。
- ・ 共通基礎科目に変更を希望する方 → 「社会福祉学入門」(科目コード AH1050) に登録変更いたします。

■ 科目の内容

社会福祉の概念とその理念を、史的展開に基づいて理解する。
 現代社会の福祉的課題とそれに対応する制度について理解する。
 社会福祉の専門性について、価値、知識、技術の枠組みに沿って理解する。

■ 到達目標

- 1) 広義、狭義の社会福祉の概念が説明できる。
- 2) 現代社会における社会福祉制度の役割とその概要を説明できる。
- 3) ソーシャルワーク(狭義の社会福祉の実践)の枠組みが説明できる。
- 4) ソーシャルワークの過程、技術、実践をイメージし、具体的に説明できる。

■ 教科書

村川浩一、上野谷加代子監修『社会福祉基礎』実教出版、2014年

■ 在宅学習 8 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会福祉の歴史 (p.36~48)	社会福祉の歴史を学ぶ。 キーワード：貧困、社会病理	社会の問題であることを理解する。
2	社会福祉の理念 (p.18~29)	社会福祉の理念を理解する。 キーワード：ノーマライゼーション、自立、ソーシャル・インクルージョン	史的展開と関連づけて理解する。
3	社会福祉の概念 (p.72~77、p.146~157)	社会保障、社会福祉の概念を理解する。 キーワード：社会保険、公的扶助、公衆衛生	社会保障制度の各領域との比較で理解する。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	生活と福祉 (p.50～65、p.8～17)	現代日本社会の福祉的課題について知る。 キーワード：少子高齢化、生活の変化、地域の変化	統計データをもとに理解する。
5	社会福祉制度 (p.78～145)	福祉的課題とそれに対応する制度を知る。 キーワード：貧困、生活困窮、虐待、障がい、要介護	社会福祉制度を必要とする実態を理解し、制度に関する基礎的な知識を得る。
6	ソーシャルワークの枠組み (p.166～193)	ソーシャルワークの枠組みを理解する。 キーワード：生態学的視点、生活モデル	視点、モデル、アプローチを意識して整理する。
7	ソーシャルワークの実際 (p.194～215)	ソーシャルワーク実践の実際を知る。 キーワード：ソーシャルワークの専門性	どのような価値に基づいて、どのような技術がどのような過程でおこなわれるかを、現実との関連を高めながら理解する。
8	まとめ	ソーシャルワークの概念、枠組み、過程、技術について、自分のことばで説明する。	事例も学んで、実践を具体的にイメージできるようにする。

■レポート課題

1 単位め	社会保障制度の中にソーシャルワーク（狭義の社会福祉）を位置づけ、ソーシャルワークの理念、枠組み（視点、モデル、アプローチやプロセス）についてまとめなさい。
-------	---

■アドバイス

- ・「社会福祉学入門」の授業です。まず社会福祉が必要となった歴史的背景を理解し、福祉的課題を「社会の問題」としてとらえましょう。
- ・社会福祉制度の特徴を、社会保険との違い、公的扶助（生活保護制度）との違いなどを通して調べてみましょう。
- ・生態学的視点、生活モデルなどのキーワードを調べてみましょう。

【1 単位めレポート講評の基準】

「再提出」の場合

1. 題意が把握できていない
2. 誤字、脱字が多く、文章の意味が通らない表現である
3. その他（コメント欄を参照）

社会保障制度の意味がテキストなどの文献学習から把握できている（文献の内容をまとめている）

「可」

その上で、

- ・社会保障制度とソーシャルワークの関係が把握できているあるいは、
- ・ソーシャルワークの原則やプロセス、援助技術の内容などについて学習されている（文献の内容をまとめている）

「良」

これらのステップを踏まえ、

- ・ソーシャルワークの生態学的視点、生活モデルなどの枠組みに関する学習がされている

「優」

- ・これらが文献のまとめではなく、自分のことばで説明できている

「秀」（非公式）

*「引用・出典明示」について
A：引用、註などの表示も適切 B：表示されている C：表示されていない、または不適切（「学習の手引き」を参照すること）

*「現実との関連づけ」について このレポートでは評点の対象としません（良い場合はコメント欄に記載）。

■科目修了試験 評価基準

- ・社会福祉の概念、ソーシャルワーク（狭義の社会福祉）の専門性の理解がポイントです。
- ・記述の分量は1,000字以上。